

株式注文の種類



成行注文

値段を指定しない注文のことをいいます。

売買の成立を優先させたい場合の注文の仕方であり、いくらで値段で成立するかは市場の流れに左右されることになります。

(筆者注)

いわゆる一般的な株式売買の注文です。

2020年10月8日の太陽誘電(6976)を例に取れば、取引時間中に付いたいずれかの価格で約定します。

売買注文を出すレートを指定する注文です。

指定するレートは注文発注時のレートよりも有利な条件になります。

買い注文時は発注時のレートより低く、売り注文時は発注時のレートよりも高いレートの指定になります。

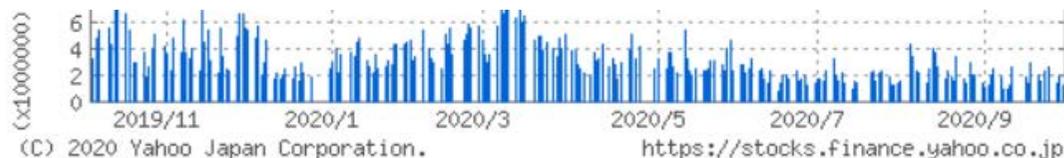
相場急変時には、ご指定いただいたレートよりも有利なレートで約定する(スリッページ)ことがあります。

指値注文

(筆者注)

自分が発注、あるいは利確したい値段を指定します。指定した値段に到達しないときは約定しません。
2020年10月8日の太陽誘電（6976）を例に取れば、指値が3,460円以下の買い注文、3,550円以上の売り注文は約定しません。
ここで、後場になって指値3,540円、執行条件に「不成」とすると、指値に達しなかった場合は、お大引けの成行価格で決済となります。
希望価格は出すが、最悪でも、今日中に決済したいという注文です。
また、セット注文として買付又は空売りの注文の約定を条件に、指値注文が流れるようにすることもでき、デイトレードなどに適しています。





期間	1日 1週 1か月 3か月 6か月 1年 2年 5年 10年
タイプ	線 ローソク スケール 標準 対数 サイズ 標準 大

基本的な逆指値の利用方法は、保有する銘柄あるいは信用建玉について、相場が思惑と反対に動いた場合、損失の拡大を防ぎたいときに使います。

あるいは、ボックス圏からの抜けや、以前の高値・安値の抜きを想定し、相場のトレンドが変わるタイミングを捉えて、投資機会を確保します。

[逆指値注文](#)

(筆者注)

いわゆるストップロスオーダー、基本的には、自分の意に反した動きになった銘柄を損切りすべき値段を指定します。自分の意図した動きになったときは、反転した場合に備えて、最低限確保したい利確ポイント（値段）を指定します。指定した値段に到達しないときは約定しません。

2020年9月23日の太陽誘電（6976）を例に取りましょう。
 この日の始値は3,220円で、寄り付きで約定したと仮定しましょう。9月1日の直近安値の2,836円から反転して上昇基調になってきたとはいえ、突然の下落に備えて保険をかけることにしました。
 この保険がストップロスオーダー（逆指値）で、例えば、直近安値の下、2,770円を入れます。
 現物買い、あるいは制度信用取引をされた方は、逆指値の有効期間を設定できます。

発注するときの逆指値注文はより高度なオーダーです。
 株価の上昇局面においては、現在値よりもさらに上昇したら買うという注文になり、下落局面においては、現在値よりもさらに下落したら空売りする注文になります。
 日足のレジスタンスライン、サポートラインを巡る攻防があるときに有効な注文です。
 2020年10月8日の太陽誘電（6976）を例に取りましょう。
 3,500円近辺は日足のレジスタンスラインになっていて、これをブレイクするかどうか買いに行けるかどうかのカギ

		<p>です。直近高値は7月15日の3,520円です。</p> <p>そこで、3,600円に達したらレンジをブレイクしたと見て、買いに行こうかと考えた場合、逆指値注文で買いを入れます。残念ながらこの日は約定していません。</p>
(VWAP=出来高加重平均価格)	(筆者注)	<p>VWAPは、日中のザラ場のレジスタンスやサポートラインとして、機関投資家にも意識されることが多いもので、<u>デイトレード</u>をする場合には5分足のVWAPを見て、指値や逆指値を入れると有効に機能することが多いです。</p>
		<p>楽天証券のMarket Speed II をお使いの方は、画面右上のログアウトの左隣のアイコン（横四本棒）から「チャート設定」を選択します。</p> <p>「新しく起動するチャートに関する設定」の中にある「基本設定」から「VWAPを表示する」にチェックを入れます。</p>
		<p>楽天証券のiSpeed（スマホアプリ）の場合は、任意の個別銘柄の5分足チャートを表示させ、「設定」からVWAPにチェックを入れる则表示されます。</p>
逆指値付通常注文		<p>通常注文と逆指値注文の2つを同時に設定することができる注文方法です。</p> <p>まず、通常注文が市場に発注されます。</p> <p>通常注文が約定する前に逆指値で指定された条件にヒットすると、通常注文はキャンセルされ、逆指値として指定された注文に訂正される注文です。</p>
	(筆者注)	<p>ダブル指値とも呼ばれ、指値と逆指値（ストップロスオーダー）を同時に注文する方法で、一般的に、先に指定した値段に到達した方が執行されます。</p>
トレイリング注文		<p>逆指値注文を設定しつつ、株価が自分にとって有利な方向に動いた場合は、<u>逆指値価格を自動で修正する注文</u>です。</p>
	(筆者注)	<p>値動きの激しい新興市場株の投資に向いています。自分の意図した動きになった場合、逆指値価格も自動的に推移するので、反転しても一定程度の利益が確保できます。</p>